

# 阿南工業高校 校歌・校章・校旗の由来

一、心すがしき黎明に  
 広き野に立ち花をめで  
 清き流れをゆびさして  
 永久に誓えばわが友よ  
 ああ学問の空ひろく  
 豊けき心ここにひらかん

二、響きを交しとよみくる  
 阿南の街に日は光り  
 道遠白くうちひらけ  
 岡の青嵐吹くところ  
 ああ花ぐわし近代の  
 工業のわざをここにきわめん

三、新しい火は創造の  
 世紀の知恵をはぐくみて  
 若きわれらの夢さそい  
 意気を鼓舞してみずみずし  
 ああ脈はる胸はりて  
 真理をここに求めん

一、心すがすがしい夜明けに  
 広い野に立つて 花の美しさを愛し  
 澄んだ美しい川の流れを指差して  
 永遠に誓いを立てれば わが友よ  
 ああ 学問の空は広く  
 豊かな心を ここにのこす

二、(人々の)声が響き渡る  
 阿南の町に日は光り  
 道は雄大に広がり  
 ここは 青嵐の吹く場所  
 ああ すばらしい近代の工業の技術を  
 ここに学び極めよう

三、新しい火は 創造の  
 世紀の知恵を育て  
 若い私たちの 夢をうながし  
 やる気を奮い立たせ 新鮮で生気があ  
 る 鼓動が早くなる胸を張り  
 ああ 物事の真理を ここに追求しよう

「青嵐」とは  
 五月上旬  
 南から吹くやや強い風

初代教頭 武田榛雄先生(昭和37年～昭和41年)(国語)は、富岡西高校で勤務されていた頃の教え子である宮井悦平先生に作曲を依頼した。宮井悦平先生が、武田榛雄先生の歌詞に込める並々ならぬ意気込みを感じたと伝えられている。

宮井悦平先生(84) 元小学校長 渋野小学校歌、勝浦音頭の作曲者

## 校歌

作詞 武田榛雄  
 作曲 宮井悦平

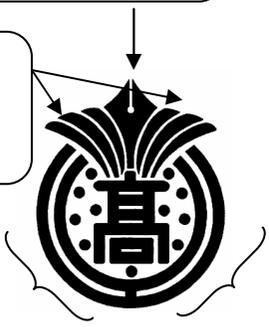
## 校章

上部の「ペン」は一般教養と基礎理論を重視した新しい技術教育を象徴している。

阿南市の市章の外形を用い校名を表している。

ペンの両側の「羽根」は飛躍発展を象徴している。

中央の「高」をとりまく多くの「点」は宇宙をあらゆる創造を象徴している。



外周に「工」をかこみ工業に関する学科を表している。

## 校旗

考案 初代校長 板東義治先生 昭和37年～昭和42年

白色である意味



- ①一般教養と専門技術を習得し、しかもそこに豊かな創造性を発揮することのできる工業人育成への本校教育指標の象徴
- ②純粋理性をみがき、純粋実践理性を培い、厳密な科学する心と、公正な批判力をもった心身ともに健全な「地の塩」たるべき社会人育成への本校教育指標の象徴
- ③古来、白色は装飾を去りいさぎよく、かつ、公明正大であることの徳目をあらかずものであるが、質実にして剛健、木訥にして仁に近き人間育成への本校教育指標の象徴